

オーバーシードとは

OVER SEED



芝生が1年を通してグリーンを保つことは、非常に魅力的であり、利用する側にとっても望むところです。しかし、ノシバやコウライシバ、パミュダグラスなどの暖地型芝草は、冬に地上部が枯れて休眠します。そのため、芝生の景観はもとより、踏圧やすり切れが激しい所では、品質の低下や致命的な損傷が生じます。休眠中の暖地型芝草に代って、冬期に寒地型芝草を育て、踏圧やすり切れから暖地型芝草を保護しようとするのが、オーバーシードの主な目的です。

ウィンター オーバーシードの手順

WINTER OVER SEED



1. 播種前の準備

オーバーシードで重要なのは、寒地型芝草の発芽定着を確実にすること、暖地型芝草へのトランジションをスムーズに行うことです。特にパミュダグラスに比べ、萌芽後の生育が遅いノシバやコウライシバなどの日本芝では、このトランジションがカギとなります。そのためにはベースとなる暖地型芝草を健全に育てておくことが前提となります。

(1) 通期の管理作業

ベースの暖地型芝草は、定期的な管理作業(コアリング、エアレーション、目砂など)により土壌の通気性や透水性を高めて、根系の発達を促します。

(2) 準備作業

播種予定の1~2週間前にはコアリングまたはバーチカルモアをかけ、古い葉やサッチを除去します。刈り高は徐々に低くし、直前には1cm程度まで刈り込みます。これらは、種子が土壌と密着しスムーズな初期生育を行うための大切な作業です。施肥は1か月前までには停止します。

2. 播種

(1) 播種時期

オーバーシードは、地温が18~22℃の頃の実施すると定着率が高くなります。

播種期が早すぎれば立枯病やいもち病発生のリスクが高くなり、遅くなれば発芽遅れや生育不良の原因となります。

■オーバーシード用草種と混播比率、播種量例(g/m²)

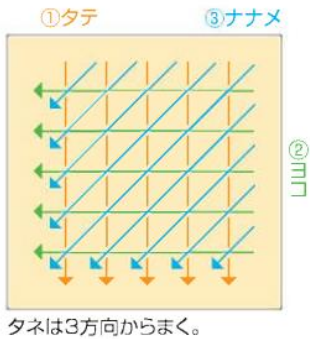
芝草の種類	スポーツ競技場 一般芝生	ゴルフ場				競馬場
		グリーン	ティー	フェアウェイ		
ペレニアルライグラス	100%	30~70	150~170	80~100	20~50	-
インターメディアイトライグラス	100%	30~80	150~170	80~100	20~50	30~70
ペレニアルライグラス	70%			70~100	20~40	-
チューイングフェスク	30%	30~40	-			-
チューイングフェスク	100%	30~40	-	100~150	20~40	-
トルフェスク	100%	40~80	-	80~120	40~80	40~80
ケンタッキーブルーグラス	100%	20~30	-	30~50	20~40	-
イタリアンライグラス	100%	-	-	-	-	30~100

■ウィンターオーバーシードの適期

場所	播種適期
仙台	8月10日~9月5日
東京	9月10日~30日
大阪	9月15日~10月5日
福岡	9月15日~10月5日
鹿児島	9月15日~10月10日

(2) 播種方法

播種はドロップシーダーやサイクロン、スリットシーダーなどを用い、縦横斜めの3方向から実施し、できるだけ均一に行います。播種後はブラシなどで十分すり込み、種子が隠れる程度(2~3mm程度)の目土を行います。目土後は再度すり込みを行い、最後は十分に灌水を行います。



3. 播種後の管理

(1) 灌水

発芽が揃うまでは毎日少量ずつ回数多く灌水し、地表面が乾かないようにします。また、1か月間は水を切らさないようにし、根を十分に伸長させます。

(2) 施肥

発芽後2週間経過したところに30g/m²を基準に施肥を行います。成分はチッソ:リン酸:カリ=10:10:10前後のものを使用します。冬期の緑度保持のために、特に年内は肥料切れが起きないようにしっかりと行います。

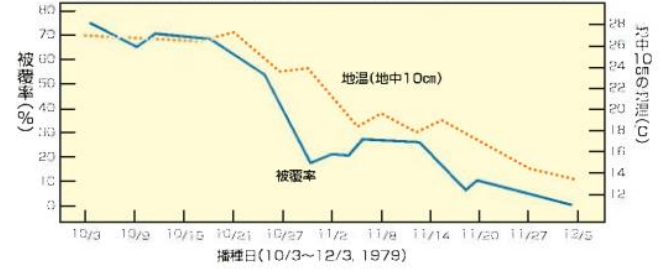
(3) 刈り込み

寒地型芝草の草丈が5~7cmになったら、1回目の刈り込みを行います。一度に元の草丈の半分以上を刈り込まないようにし、徐々に刈り高を下げていきます。最終的には2~3cmの高さを維持します。

4. 暖地型芝草への移行

地温が15℃になるころには、ベースの暖地型芝草が萌芽し始めます。この頃までにはオーバーシードした寒地型芝草の刈り高を徐々に低くして衰退させておき、暖地型芝草との競合を少なくすることがポイントです。また、低刈りによって地温が高まると、暖地型芝草の生育が促進され、移行がスムーズに行われるようになります。寒地型芝草の衰退が遅い場合には、浅くコアリングやバーチカルモアをかけます。施肥は暖地型芝草の萌芽後2~3週間経過した頃から再開します。

■地中10cmの地温が播種後16日後の被覆率におよぼす影響



▲トランジション比較(5月24日撮影)